

ホームヘルパー 介護スキル・知識基準

厚生労働省／雇用・能力開発機構委託事業
「在宅介護サービス産業雇用高度化推進事業」
(日本在宅介護協会)第2年度目報告書(案)より抜粋

		【基本レベル】 基本的なケアが十分に行える水準	【応用レベル】 状況に応じて柔軟な対応ができる水準	【模範レベル】 他者の模範となる水準
各等級に求められる知識、スキルレベルの概要		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な実務知識、技能を有し、比較的難易度の低いケースを担当する ・決められた内容のサービスを、決められた手順で実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な実務知識、技能を応用し、比較的難易度の高いケースにも対応する ・決められた内容のサービスを、手際よく効率的に実施する ・利用者のニーズや、状況の変化に適切に対応する 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い実務知識と経験を有し、難易度が極めて高いケースにも対応する ・他者の模範となり、新人や後輩を指導する ・利用者の自立支援とQOLの向上のために適切な対応をするとともに、新たな提案をする ・緊急時の対応が適切にできる
○掃除 ・利用者宅の状況の把握 ・掃除の準備 ・掃除 ・後片づけ	求められる知識	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除用具の使い方の知識 ・場所に応じた掃除方法の知識 ・事故の未然防止等安全の確認に関する知識 ・衛生面や清潔の保持に関する知識 ・介護保険内で対応できる仕事の可能範囲の知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の知識と予防の知識 	/
	求められるスキルレベル	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全を確認しながら、時間内に、決められた掃除を、決められた道具を使い、決められた手順で終わらせる ・掃除の際の音、埃、臭い等、利用者の快適性に配慮した対応をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要求や個性に合った掃除の方法をとる ・掃除をしながら、利用者の状態を把握し、コミュニケーションをとる 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の状況等から、利用者宅の異変等を予測し、対応する ・利用者とともにできることを探すなど、利用者の自立を促すチャンスを見つけ、援助のアプローチを変える
○洗濯 ・洗濯の準備 ・洗濯物の仕分け ・洗濯 ・洗濯物を干す ・洗濯物を取り込む、たたむ、収納する	求められる知識	<ul style="list-style-type: none"> ・洗剤や柔軟剤の基礎知識 ・洗濯機やアイロンの使い方の知識 ・事故の未然防止等安全の確認に関する知識 ・衛生面や清潔の保持に関する知識 ・素材の性質や繊維製品の取り扱い絵表示についての知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯物の汚れを見て、利用者の体調を把握する知識 ・感染症の知識と予防の知識 	/
	求められるスキルレベル	<ul style="list-style-type: none"> ・効率よく洗濯できるような仕分けや準備をする ・時間内に、決められた洗濯を、決められた道具を使い、決められた手順で終わらせる ・利用者の希望する洗濯の仕方、干し方、たたみ方、収納等をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯をしながら、利用者の状態を把握し、コミュニケーションをとる ・洗濯物の汚れから利用者の体調を推察する 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者とともにできることを探すなど、利用者の自立を促すチャンスを見つけ、援助のアプローチを変える

ホームヘルパー 介護スキル・知識基準

		【基本レベル】 基本的なケアが十分に行える水準	【応用レベル】 状況に応じて柔軟な対応ができる水準	【模範レベル】 他者の模範となる水準
○調理 ・メニューの決定 ・事前準備 ・調理 ・盛り付け ・配下膳 ・後片づけ	求められる知識	<ul style="list-style-type: none"> 調理方法や調理器具の使用方法についての基本的な知識 食材の鮮度を見分けることができる知識 ゴミの分別の知識 	<ul style="list-style-type: none"> カロリーや栄養に関する知識 限られた食材で作れるメニューについての知識 	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病、肝臓病等の病気と治療食に対する知識 利用者の状態に応じた、普通食のアレンジができる知識
	求められるスキルレベル	<ul style="list-style-type: none"> 時間内に、打ち合わせた献立を調理する 打ち合わせに従い、食器洗浄、ゴミ分別、火の元の確認等の後片づけをする 	<ul style="list-style-type: none"> カロリーや栄養バランス等も考えたメニューを、限られた食材で作る 利用者の好みや体調に合わせた料理を、工夫して作る 調理をしながら、利用者の状態を把握し、コミュニケーションをとる 	<ul style="list-style-type: none"> 高血圧、糖尿病等、利用者の身体状況に対応した献立を考え調理をする 利用者の身体状況に応じて、普通食を刻み食、ミキサー食等、適切にアレンジする 利用者とともにできることを探すなど、利用者の自立を促すチャンスを見つけ、援助のアプローチを変える 嚥下困難な利用者の対応をする ターミナルの状況においても、利用者に食の楽しみを提供できるような調理を工夫する
○排泄介助 ・利用者の状態の把握 ・環境を整える ・排泄動作の介助 ・安全確認 ・排泄に関する状態の観察	求められる知識	<ul style="list-style-type: none"> トイレ、ポータブルトイレ、オムツ、尿器等における排泄介助の手順についての基礎知識 利用者の皮膚の状態や排泄物から、健康状態の異常の有無をチェックする知識 一般的な衛生の知識 	<ul style="list-style-type: none"> 褥瘡の知識 排尿・排泄のメカニズムについての知識 尿失禁の種類に関する知識 麻痺、拘縮の程度に関する知識 感染症の知識 残存能力の活用方法に関する知識 福祉用具（オムツ、尿パット、ポータブルトイレ等）の種類と活用方法に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> 疾患と排泄物を関連づける基本的な医学知識 皮膚の病気に関する基本的な医学知識 排泄の適切な環境を整えるための住宅改修等を提案できる知識
	求められるスキルレベル	<ul style="list-style-type: none"> トイレ誘導、おむつ交換等、一通りの基本的な排泄介助を行う 利用者の羞恥心やプライバシーに配慮しながら、声かけ、見守りを行う 利用者の皮膚の状態や排泄物から、健康状態の異常の有無をチェックする 	<ul style="list-style-type: none"> 麻痺や拘縮があつて腰を上げられない利用者に対して、一通りの排泄介助を行う 利用者の皮膚の状態や排泄物の状態から、利用者の健康状態を観察し、適切に対応する 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の残存機能、動作能力を把握し、自立を考えた介助を行う 身体機能や症状に合わせて、適切な排泄介助の方法を選択、または助言・指導を行う

ホームヘルパー 介護スキル・知識基準

		【基本レベル】 基本的なケアが十分に行える水準	【応用レベル】 状況に応じて柔軟な対応ができる水準	【模範レベル】 他者の模範となる水準
○移動・移乗介助、外出介助 ・身体状況の確認 ・移動の状況観察 ・移動方法の説明 ・移動 ・移動先での介助 ・安全確認	求められる知識	<ul style="list-style-type: none"> 杖や車イス等、移動動作で使用する福祉用具の扱い方に関する基礎知識 基本を踏まえた移動・移乗介助に関する知識 ボディメカニクスの知識 	<ul style="list-style-type: none"> 麻痺、拘縮の程度に関する知識 身体機能や症状に合わせた移動介助の知識 移動・移乗動作で使用する福祉用具の扱い方に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の身体機能や症状に合わせて、適切な移動・移乗介助および外出介助の方法を選択することができる知識
	求められるスキルレベル	<ul style="list-style-type: none"> ベッドでの水平、上方、下方移動を適切に行う ベッドから車イス等への移乗をスムーズに行う ADLが自立に近く、比較的自力で安全確認ができる利用者に対して、移動介助、外出介助を安全に実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具（補助ベルト、トランスファーボード、ターンテーブルなど）を利用して、ベッドからの移乗を行う 歩行困難な場合や、麻痺や拘縮等がある利用者の移動・移乗介助および外出介助を安全に実施する 自力での安全確認ができない利用者の移動介助、外出介助を安全に行う 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害等、移動に対して極度の不安感や恐怖感を持っている利用者の介助を適切に行う 利用者の自立を促すチャンスを見つけ、援助のアプローチを変える 利用者の残存機能、動作能力を把握し、自立を考えた介助を行う
○食事介助 ・食事に関する状態の観察 ・配膳 ・食事介助 ・下膳 ・食事後のケア ・後片づけ	求められる知識	<ul style="list-style-type: none"> 食事介助の基礎知識 誤嚥しやすい食材・料理についての知識 安全・安楽な食事の姿勢についての知識 食事自助具についての知識 口腔ケアに関する基礎知識 咀嚼確認の仕方の知識 義歯装着、扱い方の知識 	<ul style="list-style-type: none"> 寝たきりや全介助の利用者の食事介助のやり方に関する知識 誤嚥・窒息の際の対応方法に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> 嚥下障害の利用者の食事介助についての知識
	求められるスキルレベル	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の嚥下・咀嚼状態や、ペースに合わせて一連の食事介助を行う 飲み込みの確認を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 寝たきりや全介助の利用者の食事介助を行う 視力障害の利用者に対して食事介助を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 嚥下障害の場合の食事介助を、安全に無理なく利用者の状態に合わせて行う 利用者の残存機能、動作能力を把握し、自立を考えた介助を行う ターミナルの状況においても、利用者に食の楽しさを提供できるような介助を行う

ホームヘルパー 介護スキル・知識基準

		【基本レベル】 基本的なケアが十分に行える水準	【応用レベル】 状況に応じて柔軟な対応ができる水準	【模範レベル】 他者の模範となる水準
○入浴介助 ・身体状況の確認 ・入浴準備 ・浴室移動 ・脱衣 ・身体、頭髪等を洗う ・入湯 ・身支度 ・入浴後の身体ケア ・後片づけ	求められる知識	<ul style="list-style-type: none"> 入浴介助の基礎知識 利用者の皮膚の状態から、健康状態の異常の有無をチェックする知識 体位変換、移動、脱衣、排泄、清拭、洗髪に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある利用者に対する入浴介助に関する知識 褥瘡の知識 入浴に必要な福祉用具（バスボード等）の知識 	<ul style="list-style-type: none"> 重度の障害のある利用者に対する入浴介助に関する知識 皮膚の病気に関する基本的な医学知識 入浴の適切な環境を整えるための住宅改修等を提案できる知識
	求められるスキルレベル	<ul style="list-style-type: none"> ADLが比較的自立的な利用者に対して、入浴への声かけ・誘導や見守りを安全に行う 利用者の皮膚の状態から、健康状態の異常の有無をチェックする 	<ul style="list-style-type: none"> 座位、立位の保持が不安定な利用者や、視覚障害の利用者の入浴介助を行う 利用者の顔色や皮膚の状態等から、健康状態を観察し、適切に対応する 	<ul style="list-style-type: none"> 入浴に対して不安感や恐怖感を持っている利用者へ、快適に入浴介助を行う 利用者の残存機能、動作能力を把握し、自立を考えた介助を行う
○痴呆高齢者への対応 ・身体状況、精神状態等の観察 ・中核症状や周辺症状への対応	求められる知識	<ul style="list-style-type: none"> 加齢に伴う精神機能の変化や、痴呆とは何か等、痴呆の概念に関する基礎知識 痴呆の症状と、それに影響する要因に関する基礎知識 痴呆介護の原則や、それに基づく対応のしかたの基礎知識 痴呆高齢者とのコミュニケーションにおける留意点等の基礎知識 	<ul style="list-style-type: none"> 痴呆高齢者の周辺症状に関する知識、およびその原因と対応に関する知識 	
	求められるスキルレベル	<ul style="list-style-type: none"> 痴呆高齢者を受容し、理解に努める 比較的軽度な痴呆の利用者（記憶・見当識障害、理解・判断力の低下等の中核症状が見られる利用者）に対応する 	<ul style="list-style-type: none"> 軽～中程度の周辺症状の見られる利用者、症状の原因を考えながら適切に対応する ケアに抵抗感を持つ利用者に対応する 利用者に役割意識や有能感を感じることができるよう働きかける 	

ホームヘルパー 行動能力基準

必要な能力	定義	【基本レベル】	【応用レベル】	【模範レベル】	
		ヘルパーとしての基本的な行動がとれる水準	状況に応じて柔軟な対応がとれる水準	他者の模範となる水準	
対人コミュニケーション	傾聴・伝達力	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の話を冷静に最後まで聞く ・伝えるべきことをきちんと伝える ・話しやすい雰囲気をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思を的確に理解する ・簡潔明瞭に利用者に分かりやすく話す ・押しつける雰囲気のない話し方をする ・利用者に伝わったかどうか確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いかけにより利用者の気持ちを引き出す ・コミュニケーションが難しい利用者に対して、適切な対応をする ・不適切事例や対応困難なことを利用者に説明し、理解を得る 	
	対人受容性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の表情やしぐさなどを読みとり、言葉で表現されなくても利用者の思考や感情を察知する 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が何を望んでいるのかを、場の状況から敏感に察知する ・場の雰囲気に合った配慮ある言動を示す 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がとる言動の周囲への影響を適切に感じ取る ・利用者の考え方、行動、立場、置かれている状況や背景などに関心を寄せ、偏見なく共感的に理解する 	
	対人関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者との個人的な信頼関係を築く 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の共感が得られるような、誠実で熱心な印象を与える ・利用者が不快にならないような挨拶、雰囲気づくりをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者やその家族との関わり方の基本を理解し、良好な関係を築く 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者となれ合いの関係にならず、良きパートナーになる ・利用者を動機付けし、意欲向上を図る
組織性	組織人としての行動	<ul style="list-style-type: none"> ・組織（チーム）の一員として、組織（チーム）の基準、ニーズ、目標を理解し、組織（チーム）の円滑な運営を促進すべく行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻や未訪問をしない ・挨拶やマナーなど一般常識を身につけている ・会社の決まりや指示を守る ・一個人ではなく、会社・チームの一員としての意識を持ち行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・急な業務依頼にも進んで協力する ・会社の基本方針、基本理念を理解した行動をとる ・組織内、チーム内で関係者の協力関係を築くことができるよう行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー的な立場で、自分の技術・知識・経験などを他者に教えたり、伝えたりする ・業界や会社の状況を正しく把握し、組織やチームの目標や方針の達成のために貢献する行動をとる ・職場や現場での仕事の改善提案をする
	情報の伝達、共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や現場の状況に関する必要な情報を会社や関係機関に伝え、問題解決を働きかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や現場を把握し、業務日報や連絡ノートに書き記すなど、遅滞なく関係者に報告・連絡・相談をする ・第三者が見ても状況が把握できるような記録の取り方をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題が生じたときなどに、必要な情報を組織に伝え、組織として情報の共有化ができるように主体的に働きかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、上司に問題点に対する解決案を提案する ・的確なモニタリングにより、状況変化に対応して、訪問介護計画の修正等の提案を行う
自己管理	心身の自己管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスやプレッシャーの中でも、自己の安定や心身の健康（精神的なストレスや体調など）をうまく管理する 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、睡眠、休息などのバランスをとり、日常的に健康や体調管理に留意する 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の維持・増進のための取り組みをする ・自分自身のストレスの特徴を自覚する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の緊張をほぐし、リラックスできる方法を知り実践する
	向上心、目標指向力	<ul style="list-style-type: none"> ・現状に満足せず、常に高いレベルを目指して取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術・知識の幅を広げるよう取り組む ・業務に役立つ学習や情報収集を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・率先し新しい仕事や難しい仕事に取り組む ・うまくいったこと、いかなかったことの背景や原因を分析し、次の業務に生かす ・自らのステップアップのための目標を明確に持ち、学習や研鑽の機会を主体的に持つ ・資格取得など今後の目標を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの専門性をさらに向上させ、それをもとに、関係者の業務推進がさらに促進されるように貢献する
サービスの遂行	サービス遂行上の業務管理力	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や現場の状況に応じて、何をすべきか判断し、効率的に業務を遂行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護計画に沿って、決められた時間内に業務を終らせる ・計画と実績のチェックを行う ・ケア内容、利用者の状況などを記録に残す 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて、サービスの時間配分や優先順位づけを適切に行う ・利用者の要望や個性に応じた対応を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・起こりうるリスクを踏まえた仕事の段取り・手順を考える ・身体状況を適切に読みとり柔軟に対応する
	責任性	<ul style="list-style-type: none"> ・目標や課題達成のための自己の責任を明確に自覚し、最後まで業務責任を果たす 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者として責任を明確に自覚している ・指示を正確に理解し、その指示通りに担当業務を遂行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の行動に最後まで責任を持ち、成果を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時や困難に直面した場合であっても、各々の状況において何をすべきか考え、責任を全うする
	法令遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度に関わる法令および法精神を理解し行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・不適切事例を理解し、訪問介護計画に沿ってサービスを提供する ・利用者の個人情報をもらさない(守秘義務) 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護サービス運営基準に沿って、サービスを提供する 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護サービス運営基準を理解し、新人や後輩を指導する